

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	観光の振興			
施策の体系	基本目標	ひとが賑わうまち	施策の主担当課名	商工水産課
	基本施策	産業活性化プロジェクト	関係課名	総合政策課・文化課
	施策コード	A-2-5	シート作成者名	新家 敏克

① 施策の現状と課題	<p>これからの観光は、地域がプロデュースして、自然体験・地域交流・学習体験などを楽しむ「着地型観光」が主流となってきます。本市には、今川河畔の桜、潮干狩り、海水浴場、新田原の果樹園、国指定史跡の御所ヶ谷神籠石や掩体壕など多くの観光資源があります。</p> <p>今ある観光資源を生かした取組みとして、今川河畔の桜ライトアップ、ビーチバレーやビーチサッカーなどの海水浴場でのスポーツイベントの開催などを行い、観光客を誘致してきました。また、文化財を案内するボランティア「ゆくはし屋根のない博物館市民学芸員」による史跡ガイドや「ゆくはし探訪ツアー」など、ボランティアや地域住民の参加による観光事業に取り組んでいるところです。</p> <p>特産品においては、なたね油やドライフィグ（乾燥いちじく）、いちじくソースなど、生産者と協力しながら新商品の開発に取り組む、広くPRしてきました。</p> <p>今後も、今ある観光資源を生かした取組みを引き続き努めることが必要ですが、さらなる観光資源の掘り起こしや観光案内板の整備、情報提供をいかに充実させていくかがこれからの課題です。さらに、多様化する観光客のニーズに対応するために、さらには空港に近接する優位性を生かした外国からの観光客誘致のために、近隣の市町村と連携した広域による観光開発の取組みとネットワークづくりも必要となってきます。</p> <p>また、主要地方道行橋添田線沿線に広がる観光資源を有効活用するため、東九州自動車道との接続を推進する必要があります。</p>
	② 施策の基本方針

③ 施策の内容 (主要施策)	<p>主要施策名(1) 情報提供の充実</p> <p>行橋駅構内にある「行橋市観光物産情報コーナー」を中心に、本市の観光を市内外に広くPRしていきます。また、近隣市町村と連携しながら、広域的な観光ネットワークに取り組み、雑誌や報道機関などの広報媒体や大手旅行代理店等を活用しながら国内外に広く情報発信していきます。</p>
	<p>主要施策名(2) 観光案内板の整備</p> <p>マイカーで観光地を訪れる人や外国からの観光客のために、目的地がわかりやすい外国語併記の案内板を設置します。また、名所の説明看板が古くなっているところは、新規に取替え、まだ整備されていない箇所については、早急に整備を進めていきます。</p>
	<p>主要施策名(3) 特産品の開発</p> <p>関係事業者の連携を促し、市の特色を生かした新たな特産品開発に取り組む、その普及に努めます。</p>
	<p>主要施策名(4) 史跡や文化遺産の活用と観光ボランティアの育成</p> <p>本市の豊かな歴史と市内に数多くある史跡や文化財を積極的に観光に活用していくため、歴史散策のモデルコースの設定や案内サインなどの整備に取り組めます。また、ガイドボランティアの育成を図ります。</p>
	<p>主要施策名(5)</p>
	<p>主要施策名(6)</p>
	<p>主要施策名(7)</p>
	<p>主要施策名(8)</p>

④ 目標指標	<p>指標名(単位)</p>	<p>過年度実績</p>		<p>評価年度</p>	<p>目標値</p>				<p>達成度の説明 (H24年度)</p>
	観光案内板の設置箇所数(箇所)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	文化財をメインとした案内板を作成した。
		52	57	62	67	74	80	84	
	新たな特産品の開発(種類)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	観光協会会員と協力して、いちじくを使った新たな特産品を開発した。
		0	0	1	1	0	0	1	
観光スポットの整備とPRに関する市民満足度(%)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	アンケート調査を実施していないため、市民満足度の測定困難。	
	9.9	-	-				20.0		
	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		

⑤ 施策構成 事務事業	<p>事務事業名</p>	<p>事務事業の内容</p>	<p>事業費(人件費込、単位:千円)</p>			<p>優先順位</p>	
			H23年度実績値	H24年度実績値	H25年度見込額		
	1	特産品開発事業	各関係機関と協議しながら、新たな特産品開発を進めていく	1,120	1,120	1,120	2
	2	観光地環境整備事業	海水浴場や自然公園などの観光地整備事業を行う	2,862	2,748	3,216	4
	3	行橋市観光協会事業	行橋市観光協会の事務及び会員と連携して観光事業を推進する	2,080	2,080	2,080	3
	4	行橋市観光物産情報コーナー運営事業	行橋市観光協会に物産コーナーの管理運営を委託。市と連携しながら、観光案内や特産品のPRを行う	7,603	7,589	7,589	5
	5	今川河畔ライトアップ事業	今川河畔の桜開花時期にあわせて、ライトアップを行う	1,549	1,549	0	7
	6	再編交付金事業(長井トイレ)	長井海岸に観光トイレを設置する	0	1,853	25,270	1
	7	北九州空港地域PR事業	到着フロアにおける電照広告の掲示及び地域PRコーナーでの各種PR掲示	3,044	2,491	2,539	6
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
13							

⑥ 施策全体の今後の方針と展望 (主要部長の意見)	<p>行橋市は北九州空港からも近く、東九州自動車道の整備や201号バイパスなどのインフラ整備も進んでいる。まずは、行橋市を多く知っていただくPRを進めて行きたい。併せて、行橋市の観光資源を生かした取り組みや特産品開発を推進し、観光客の誘致を進め、魅力あるまちづくりを目指したい。</p>
---------------------------------	---

⑦ 総合計画審議会からの意見及び指摘事項等	<p>行橋市はいわゆる観光面での知名度は低いが、それでも海山川等の自然に恵まれ、更にそこから豊富な海の幸、山の幸が産出されている。また派手さはないものの、今井の町並みや祇園、守田養洲邸等歴史的に希少な史跡も点在しており、更には近年、極めて大規模な福原長者原遺跡といった新たな史跡も発見され、今後の調査、整備が期待される。</p> <p>これらの今ある観光資源を更に有効活用するためにも整備、改良を進め、付加価値を高めたうえで積極的に広くPRすることが重要である。来年から放映される大河ドラマ『黒田官兵衛』にあやかって市をPRすることも考えるべきではないか。</p> <p>併せて近隣自治体との連携により、それぞれの観光資源を活かした広域的なPRも更に推進してほしい。</p>
--------------------------	---

⑧ 施策の最終方針 (市長の意見)	<p>平成26年、NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の放送は、行橋市にとって観光をPRする千載一遇のチャンスだと考えています。本市では、今年度5月に「軍師官兵衛」ゆくはし推進協議会を立ち上げ、行政のみならず、市議会、地元住民、商工会議所、観光関係者など多くの方と連携しながら、観光案内板の整備、パンフの作成、旅行会社へ売り込みなど積極的に事業を展開していきたいと考えています。また、福岡県や中津市など、官兵衛に係わる自治体とも連携しながら、広域的な観光PRに努めていきたいと思ひます。</p> <p>また、本市には官兵衛関連以外の観光資源も多数あります。それらも併せて、継続的に観光事業を進めていきたいと思ひます。</p>
-------------------------	---